



豊里

### 豊里駅前に冬の蛍がきらめく

「豊里駅前冬の蛍通り点灯」(同実行委員会主催、及川正彦実行委員長)が12月1日、陸前豊里駅前通りのイチョウ並木と産直がんばる館で実施されました。  
21回目を迎えた豊里駅前冬の蛍通り点灯は、コロナ禍でセレモニーを中止しましたが、近隣児童施設の子どもたちによる「コロナウイルスが収束したらやりたいこと」を描いたイラストを蛍通りに展示。12月の風物詩である冬の蛍が駅前を彩りました。

### ホカホカの秋の味覚を楽しむ

「米岡小学校焼き芋体験」(山田伸一郎校長、児童117人)は11月20日、同校の校庭で開かれ、全校児童が参加しました。  
焼き芋体験は、学校の農園で育てたサツマイモを、児童一人一人が濡らした新聞紙とアルミホイルで包み、学校支援ボランティアがまきや落ち葉を使って焼き上げました。児童たちは、出来たての焼き芋の熱さに苦労しながら、秋の味覚を楽しみました。



米山



迫

### 地域の絆で防災力向上目指す

「東表総合防災訓練」(東表自主防災会主催、門脇昭雄会長)は11月15日、上行寺境内で実施され、地域住民や関係者約130人が参加しました。  
防災訓練は、密集を避け「心肺蘇生法等訓練」、「初期消火・通報訓練」、「発電機の使い方」の3班に分かれて、消防署職員の指導により実施。行政区全体から参集する初めての取り組みとなり、参加者は「今回の訓練を機に、今後も地域の防災力向上を目指したい」と決意を新たにしました。



石越

### 早めのライト点灯を呼び掛け

「4時ライト運動」(石越地区交通安全母の会主催、金澤いく子会長)は11月24、25の両日、石越総合支所前交差点付近で実施され、関係団体の40人が参加しました。  
運動は、ドライバーに早めのライト点灯を呼び掛け、夕暮れ時の事故を防止することが目的。参加者は手持ちプレートや交通安全を啓発する横断幕などを掲示し、日が暮れ始める午後3時45分から30分間、県道を走行するドライバーに早めのライト点灯を促しました。

### 火災の無い地域願い街頭指導

「秋季火災予防運動に伴う街頭指導」は11月7日、登米町内3カ所の交差点で実施され、市婦人防火クラブ登米支部(後藤久美子支部長)の地区代表13人が参加しました。  
街頭指導は、火災が発生しやすい季節を迎え、地域全体で火災予防についての意識を持ち、火災の発生を防止し、家財を守ることを目的に実施。参加した婦人防火クラブ員は、火災予防の旗を掲げ、ドライバーや歩行者に火災の予防を啓発しました。



登米

### 生き生きと心と体の健康促進

「いきいきクラブまつり」(スポーツクラブみなみかた主催、高橋充会長)は11月1日、南方総合運動場で開かれ、約120人が参加しました。  
いきいきクラブまつりでは、グラウンドゴルフ交流大会やサークルの成果発表会が開催されました。グラウンドゴルフ大会では、多くのホールインワンが出るなど、参加者は腕を競い合いました。成果発表会では太極拳の演武やレクダンスを披露。参加者は楽しいひとときを過ごしました。



南方



東和

### 自然の中で交流の輪を広げる

「令和2年度東和地区三校合同交流体験活動」は11月13、14の両日、国立花山青少年自然の家で開かれ、東和地区3小学校の5年生32人が参加しました。  
新型コロナ感染防止のため活動に制限がありましたが、ボランティア参加したジュニアリーダーと一緒に自然散策やダンス、キャンドルサービスを楽しみ、3校の交流を深めました。また、多くの児童が初めて体験する火起こしや焼き板づくりに挑戦し、思い思いの作品を制作しました。



津山

### 炭ってこうやって作るんだね

「炭焼き体験」は11月24日、学校支援ボランティアの阿部政幸さんの炭焼き施設で実施され、柳津小学校、横山小学校の5、6年生27人が参加しました。  
炭焼き体験は総合的な学習の時間の一環として実施。津山に伝わる炭づくりの歴史や暖房など燃料としての炭の利用を学びました。児童は、まき割り機や炭窯などを見学。クヌギやナラのまきを並べる作業を実践し、作業後は炭火で焼いたソーセージなどの試食を楽しみました。

### 運転マナー向上を呼び掛ける

「マナーアップル作戦」(中田町交通安全団体連絡協議会主催、小野寺篤朗会長)は、11月8日、中田町浅水のコンビニエンスストア前で実施され、佐沼警察署や交通安全関係団体から30人が参加しました。  
マナーアップル作戦は、交通マナーの向上を願い、リンゴや交通安全啓発チラシ、ポケットティッシュをドライバーに配布する街頭キャンペーン。危険な運転の根絶や横断する歩行者の優先に配慮した運転を呼び掛けました。



中田